

Kisogawa high school

IEC News Letter

カイパラ短期派遣を終えて

団長 早川 和美

「こんなに親切にしてもらっていいのかしら。」と思わなかった日はありませんでした。「どうすればこのお返しができるんだろう。」たぶん全員がそう感じていたと思います。

果てしなく続く大自然。生徒の多くが、professional farm かlife-style farmかにステイしていたそうです。家に家畜がいて、家族と一緒にその世話をする。学校の授業は全く理解できなかったでしょうが、雰囲気だけはしっかり感じ取ることができました。Buddyと一緒に登校し、授業を受け、お弁当を食べ、Buddyの友達とおしゃべりする。



ニュージーランドの家族の一員になって、日本のことについて聞かれたり、一緒にお菓子を作ったり、お買い物に行ったり、街に連れて行ってもらったり、家でゲームしたり。

日本人は私たちだけではありませんでした。日本のいろんな所からいろんな生徒が来ていましたが、木曾川高校の生徒だけは別格の扱いを受けていました。それは本校がKaipara Collegeの唯一の姉妹校だからです。最後の日には、なんと、私たちがKaipara Collegeの一員として、日本の別の高校の団体に対してマオリ流の歓迎のあ

いさつをしたのです。結果として、日本人同士でHogi（おでこと鼻の頭をくっつけて、息をまじりあわせるといふマオリの正式な挨拶）をするという何とも照れくさい状況になってしまいました。



いろんなところに連れて行ってもらいましたが、書ききれません。よければ、しばらくしたら出来上がる報告書を図書館でお読みください。また、9月10日のKTの帰国報告を楽しみにしててください。



〈お知らせ〉

9月5日の文化祭にも簿記室で、ニュージーランドに関する展示・発表を行います。PTAの方が開く喫茶や、外国の方と直接話すことのできるスカイツなどをする予定ですので、お楽しみに！
